

一 般 質 問



小川ひとみ 議員

問 これからの生涯学習について

答

社会教育・生涯学習の充実を図り、ソフト・ハード面についても町民の声を聞き、取り組んで参ります。

小川議員
生涯学習は、いつでも、どこでも、誰でも、生涯にわたって学習することができるとです。
そして、その成果をいかすことのできる社会をめざしています。
今金町でも、生涯学習として、いろいろな取り組みもされていっていると思いますが、人口減少、高齢化などの社会状況の変化に合わせたものが求め

られています。特に、その活動の場としては、様々な団体があります。活発な活動をされてきていますが、女性団体や老人クラブのなかには、高齢化が進み、活動の停滞、存続も危ぶまれていると聞いております。そこに対する手立ては、どのようにお考えでしょうか。
また、場所として考えますと、今、建設中の総合体育館の担う役割は大きいと思えます。組織に入る、入らないにかかわらず、全ての人が利用できる機能、利用してもらええる工夫はどのようにお考えでしょうか。

教育長

「質問の1点目でありますが、教育委員会としても既存組織への運営・活動の支援を継続して行うことはもとより、昨年開催されたレディースキーマンプロジェクトのように、既定の枠にとらわ

れず分野・世代・組織の垣根を越えた連携や個人としての参加・協力などへの調整役として、また、老人クラブなど高齢者の活動を支援している社会福祉協議会や保健福祉課なども協働・協力し、高齢者向けの研修・体験メニュー作りなど生涯学習活動の支援を行っております。

二点目ですが、現在、建設中の総合体育館については、アリーナ面積は現施設とほぼ同じ面積が確保されたことから、団体を中心とした競技スポーツ以外にも個人単位での利用もこれまで同様に行けるものと考えております。

また、生涯スポーツの観点から年齢や身体能力に関係なく誰もが楽しめるようフロアカーリングなどニュースポーツの導入・普及にも努めており、更にはウォーキングデッキや新たなトレーニング機器・健康管理機器の導入も予定していることから、健康増進や体力維持も含め年間を通して気軽に利用できる、そして交流できる施設としての運営を目指して参ります。

三点目ですが、子どもたちの学力向上を図る上での基本となる「読む力」と「書く力」

を高める方策として「読書と作文のまち」への取組みを始め、ワーキングチームを中心に学校での「朝読書活動」やPTAが主体となった「デジタル絵本作り」、「大人のためのお話会」など関係機関等との連携のもと多くの事業を継続して実施しております。

また、図書振興にも力を入れ、学校図書館への司書派遣や街角文庫・移動図書館車運行、保健福祉課との連携によるブックスタート事業、ボランティア団体による読み聞かせ、図書まつり等を開催しております。

今後においても社会教育・生涯学習の充実を図るとともに、必要とされるソフト・ハードの在り方についても町民の皆さまの声をしっかりと受け止め、取り組んで参ります。

小川議員

生涯学習は個々にとって健康の維持・増進に役立ち、人生が豊かになり、生きがいにつながるもの。教育委員会としては人材を育成することだと思えます。生きがいを感じながら自分の得意分野で地域社会の中で活躍することはいろいろな問題の解決に大いに

教育長

役立つと思えます。そこで人材育成・人材活用についてどのようにお考えでしょうか。

今金町の社会教育は実行委員会組織をたくさん組織しながらいろいろな物事をやっておりますけれども、その中で人が育っているということは私は本当に間違いのないところだと思つし、今後もそういう実行委員会を組織しながら、お互いの連携を強める。そんな活動にして参りたいと思つしますし、私たちは指導機関としてそういう実行委員会を後押しする。そういう組織でありたい。そんなふうに考えております。

